

2021年12月27日

各 位

会 社 名 株式会社ファーマフーズ
代 表 者 名 代表取締役社長 金 武 祚
コ ー ド 番 号 2 9 2 9 (東 証 第 一 部)
問 合 せ 先 管理 部 部 長 新 谷 義 信
T E L 0 7 5 - 3 9 4 - 8 6 0 0

サステナビリティ基本方針の策定及び 卵殻膜を用いた新たなアップサイクル事業参入のお知らせ

当社は、「中期経営計画 2026」に基づき、この度「サステナビリティ基本方針」を策定いたしました。また、未利用資源のアップサイクルとして、卵殻膜を高度利用した「繊維」及び「植物活力剤」市場へ参入いたします。

なお、当社のサステナビリティ経営の実現のため、株式会社滋賀銀行との間で、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、P I F）※」を活用した総額 15 億円のコミットメントライン契約を締結いたしました。京都の上場企業において、P I F の契約締結は本件が初めてとなります。

※ポジティブ・インパクト・ファイナンス

企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響およびネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、特定されたポジティブインパクトの拡大と、ネガティブインパクトの低減に向けた取り組みをサポートする融資。SDGsへの貢献度合いなど、事業活動におけるポジティブな意図やコミットメントを可視化することで価値・競争力を維持・向上させるとともに、環境や社会のサステナビリティ向上につなげることを目的としている。

記

1. サステナビリティ基本方針

当社は健康維持の総合サポート企業として、「100 歳時代に価値ある豊かさと価値ある健康を」というサステナビリティビジョンを掲げております。長寿社会を迎えつつある現代において、健康という側面から人々の持続的な幸せへ貢献していくことで、持続可能で豊かな社会の実現を目指しております。

このビジョン達成に向け、当社は生命活動と健康維持に重要な3つの要素である「免疫」「老化」「神経」の3つを開発コンセプトに据えた研究活動を行っております。そして、SDGs（持続可能な開発目標）については、事業の中核で追求していくものであるとの考えのもと、経営判断から現場での実践に至るまで社会課題の認識と取組みの実践を浸透させることで、自社の事業成長が持続可能な社会の実現に貢献できるよう努めていく方針です。

サステナビリティビジョン

100歳時代に
価値ある豊かさと
価値ある健康を

2. サステナビリティ推進体制

当社は、代表取締役社長をサステナビリティ推進の最高責任者としております。常勤監査役も出席する幹部会において、管理部経営企画課が各部門長を取りまとめる等の事務局を担い、自社の気候変動を含む中長期的なESG課題についてリスクと機会への対応方針や取組計画等を審議・策定するとともに、様々な活動のモニタリングを行うこととしております。

今後、各部門での主体的な管理・推進体制を強化していくほか、社外への周知浸透を図るため、各KPIやその達成状況について当社ウェブサイトで公表を行う予定です。

3. マテリアリティ（重点課題）の特定

当社は、社会課題やESGトレンドをもとに検討すべき課題を抽出し、社会的課題（要請）の大きさと当社にとっての重要性の観点から分類した後、幹部会での議論を経てマテリアリティを特定いたしました。

これらのマテリアリティへの対応を通じて、持続可能な社会の実現に寄与する企業活動を実践し、サステナビリティビジョンの達成及びさらなる企業価値の向上に努めてまいります。

| マテリアリティ | 施策 |
|---------------|--|
| 人々のQOL向上 | ヘルスケアデバイスや新規事業など、健康状態に応じたソリューションの融合より、QOL向上に貢献する |
| 未利用資源のアップサイクル | 様々な未利用資源から高付加価値素材を開発し、食品、農業、化粧品へのアップサイクルに取り組む |
| 多様性の尊重 | 共通の目標を達成できる人材であれば、国籍、性別、宗教にこだわらないダイバーシティ経営を実践する |

4. 卵殻膜を用いた新たなアップサイクル事業

鶏卵は、世界中で食される最も身近な食品のひとつです。当社は、卵を21日間温めるとヒヨコが生まれるという現象に着目し、卵黄及び卵白由来の様々な機能性素材の開発を行ってまいりました。

一方で、卵を使用すると卵の殻が発生します。卵の殻は、炭酸カルシウムの「卵殻」部分と「卵殻膜」というたんぱく質の薄皮の部分から構成されます。

このうち、「卵殻膜」には、ウイルス、細菌及び紫外線から中身を守る生体防御膜としての機能的な特徴と、タンパク質の繊維が絡み合った構造的特徴があります。

この性質を活かし、当社は「卵殻膜」を高度利用した「繊維」及び「植物活力剤」市場へ参入することとなりました。このアップサイクルにより、日本国内で年間26万トン廃棄されている卵の殻を高付加価値製品に転換し、持続可能な社会の実現に寄与してまいります。

なお、「サステナビリティ基本方針」及び卵殻膜を高度利用した「繊維」及び「植物活力剤」市場参入についての説明会を以下の通り動画配信いたします。

| サステナビリティ説明会 | |
|-------------|---|
| 開催日時 | 2021年12月27日 11時15分頃 ※配信時間は前後する場合があります |
| 配信URL | https://youtu.be/4aQvkru-wuU |

5. 今後の見通し

本新規事業が当社の2022年7月期の連結業績に与える影響は現時点では軽微と見込まれておりますが、中長期的には当社の企業価値向上に大きく資するものと考えております。今後、業績に重要な影響を及ぼすことが明らかとなった場合には、速やかに公表いたします。

以上